

学校関係者評価報告書

はくほう会医療専門学校赤穂校学校関係者評価委員会は、「令和4年度自己点検・自己評価報告書」の結果に基づいて学校関係者評価を実施いたしましたので以下のとおり報告いたします。

1. 開催日時 令和5年5月11日（木）15:00～（オンラインにて開催）

2. 学校関係者評価委員

学外委員

| 所 属 | 役 職 | 区 分 |
|-----------------|-----|-----------|
| はくほう会医療専門学校明石校 | 学校長 | 教育に関する有識者 |
| デイサービスセンターいきしま | 施設長 | 専門分野委員 |
| はくほう会デイサービスセンター | 施設長 | 卒業生 |

本校出席者

| 氏 名 | 役 職・所 属 等 |
|-------|----------------|
| 藤村 忠史 | 学校長・理学療法学科 学科長 |
| 亀山 一義 | 作業療法学科 学科長 |

3. 学校関係者委員による評価及び意見

① 教育理念・教育目的

教育理念及び教育目的、卒業時点で到達すべき資質等は適切に設定できている。学生便覧へ掲載されており、学習の指針となっている。

② 教育目標

教育理念の下、専門的知識や技術だけではなく、コミュニケーション能力や協調性、また実践で何ができるかを考え養うことのできる教育を推進する必要があると思われる。

③ 教育課程経営

教育課程経営は引き続き自己評価も良く、目標から教育活動・実習での学びの保障は一貫性があり、今年度の国家資格の合格率も両学科共に平均を大きく上回る高い水準で推移している。

④ 教授・学習・評価過程

引き続き授業アンケートや評価を実施し、問題点については改善活動を促していく必要がある。

⑤ 経営・管理過程

組織体制や財政基盤については概ね問題ない。開校より 20 年近く経過しており老朽化に伴う施設や備品等の修繕が必要となっている。

⑥ 入学

昨年度ほどではないものの、新型コロナウイルスの影響は残っており高校訪問やガイダンスは十分にではなかったといえる。引き続き SNS やホームページでの情報発信の強化に努めた結果、昨年度に近い入学者を確保することが出来た。しかし作業療法学科は定員を大幅に割り込んでいる。今年度は在校生協力のもとで高校訪問を強化し、両学科の定員確保に繋げたい。

⑦ 卒業・就職・進学

卒業時の就職状況の把握については概ね問題ないが、追跡調査等は出来ておらず、体制も整っていないのが現状である。情報収集の手段および統計的処理方法も含めて検討が必要である。

⑧ 地域社会・国際交流

今年度も昨年度と同様に新型コロナの影響で地域対象講座は実施できなかったが、近隣校との共同授業や地域の中学校への出前授業など、可能な範囲での活動は高く評価できる。

国際交流については環境整備を含め対応は難しいが、国際的視野を広げるためにも検討が必要である。

⑨ 研究

研究活動を保障する環境や体制は整っており、大きな問題点は見つからない。

その他

特記事項なし。

総合評価

今年度も新型コロナウイルス感染症により、例年の学内イベント・臨床実習・広報活動等が中止や縮小、形態の変更を余儀なくされ思うような活動が出来ない中、実習施設との連携による実習の実施や SNS 活用による広報活動は評価できる。また例年並みの教育活動・国家試験の合格率を維持することができていると思われる。引き続き、実践に基づく知識や技術を養う医療人の育成に尽力いただきたい。